

# 令和 8 年度予算概要

---

林務部



# R8年度林務部予算総括

◆ R8年度の執行ベース（15か月予算）は約**180.4億円**となり、**前年度比101%**と堅調な規模を確保

(単位：千円)

区分		R8年度分			R7年度分			前年度比 C/F
		R8当初 予算額(案) A	R8.1補正 予算額 B	15か月予算 C=A+B	R7当初 予算額 D	R7.1補正 予算額 E	15か月予算 F=D+E	
課 室 別	森林政策課	3,475,808	13,100	3,488,908	3,327,845	0	3,327,845	105%
	信州の木活用課	1,697,488	230,578	1,928,066	1,986,800	133,056	2,119,856	91%
	県産材利用推進室	464,092	209,275	673,367	407,088	540,072	947,160	71%
	森林づくり推進課 (鳥獣除く)	9,033,327	2,377,402	11,410,729	8,821,022	2,223,001	11,044,023	103%
	鳥獣対策係	469,348	69,676	539,024	504,284	0	504,284	107%
合計		15,140,063	2,900,031	<b>18,040,094</b>	15,047,039	2,896,129	17,943,168	<b>101%</b>

事 業 種 別	一般行政費（非公共）	7,167,320	579,197	7,746,517	7,211,629	712,666	7,924,295	98%
	林道	952,519	67,204	1,019,723	938,282	60,797	999,079	102%
	治山	3,668,086	1,515,801	5,183,887	3,980,280	1,318,800	5,299,080	98%
	造林	2,981,138	737,829	3,718,967	2,449,848	803,866	3,253,714	114%
	直轄治山	371,000	0	371,000	467,000	0	467,000	79%
合計		15,140,063	2,900,031	18,040,094	15,047,039	2,896,129	17,943,168	101%

注) 補正予算は繰越明許設定分のみ記載

# 令和8年度 林務部 施策体系

政策の柱	大項目	中項目	小項目	事業名	主要事業一覧No.	資料頁	
1 持続可能で安定した暮らしを守る	地球環境を保全する	持続可能な脱炭素社会の創出	総合的な地球温暖化対策の推進	拡 森 木造・木質化支援事業	①	14,15	
				新 譲 収穫予想表・林分積表の改訂事業			
				信州の森林づくり事業（公共・県単）	④⑫⑬	18,19,23	
				森 ・人工造林・初期保育の高上げ			
				森 ・防災・減災のための里山整備			
				拡 森 ・再造林省力化モデル推進事業			
				特定鳥獣保護管理事業			
				新 拡 ・イノシシ生息状況調査			
				野生鳥獣総合管理対策事業			
				野生鳥獣保護管理体制整備事業			
・ハンターデビュー支援事業							
拡 ツキノワグマ被害対策緊急対応事業	⑩	21,22					
森 地球温暖化防止吸収源対策推進事業							
譲 SDGs森林の再生発信事業							
拡 譲 森林経営管理体制支援事業							
再生可能エネルギーの普及拡大							
譲 木質バイオマス循環利用普及促進事業							
譲 林地残材等有効活用支援事業							
災害に強い県づくりの推進	災害に強い県づくりの推進	/	災害に強いインフラ等の整備を推進 流域治水の推進	治山事業（公共・県単・直轄）	⑫⑬⑭	23	
				信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕	④⑫⑬	18,19,23	
				森 ・防災・減災のための里山整備〔再掲〕			
				森 市町村森林整備支援事業	⑪	8	
2 創造的で強靱な産業の発展を支援する	産業の生産性と県民所得の向上を図る	成長産業の創出・振興	産業としての農林業の振興	林道事業（公共・県単）	⑫⑬	23	
				信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕	④⑫⑬	18,19,23	
				森 ・人工造林・初期保育の高上げ〔再掲〕			
				拡 森 ・再造林省力化モデル推進事業〔再掲〕			
				拡 野生鳥獣総合管理対策事業〔再掲〕			
				高性能林業機械導入推進事業			
				林業総合センター試験研究普及費			
				拡 譲 信州の木供給体制整備事業	②	14,16	
				木材産業成長産業化促進対策事業			
				信州アカマツ等販路拡大事業	③	14,17	
	優良苗木の安定供給促進事業	⑤	20				
	拡 譲 ・エリートツリー等種子安定供給事業						
	林業労働力対策事業	⑥	9				
	譲 ・森林整備担い手育成確保総合対策事業						
	譲 ・信州の森林で働く人材確保推進事業						
	譲 ・林業労働力緊急確保対策事業						
	譲 ・林業労働力活用促進対策事業						
	森 多様な林業の担い手確保育成事業	⑥	9				
	譲 林業大学校運営費						
	譲 林業就労条件整備促進事業						
拡 譲 林業労働災害防止対策事業	⑦	9,10					
譲 持続的な林業経営の確立支援事業							
拡 譲 木曾谷・伊那谷フォレストバレー形成事業	⑧	11,12					
人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する	地域内経済循環の推進	地域内消費の拡大 地消地産の推進	地域内消費の拡大 地消地産の推進	拡 森 木造・木質化支援事業〔再掲〕	①	14,15	
				拡 森 ・広く県民が利用する施設等の木造・木質化			
				譲 木質バイオマス循環利用普及促進事業〔再掲〕			
				譲 ウッドもっとなぐり事業			
拡 譲 信州の木供給体制整備事業〔再掲〕	②	14,16					
地域に根ざした産業を活性化させる	地域の建設業等における担い手の確保の推進	地域の建設業等における担い手確保と育成の推進	地域の建設業等における担い手確保と育成の推進	譲 林業労働力対策事業〔再掲〕	⑥	9	
				譲 ・信州の森林で働く人材確保推進事業〔再掲〕			
				拡 譲 林業労働災害防止対策事業〔再掲〕	⑦	9,10	
拡 譲 木曾谷・伊那谷フォレストバレー形成事業〔再掲〕	⑧	11,12					
3 快適でゆとりのある社会生活を創造する	住む人も訪れる人も快適な空間をつくる	地域の特徴を生かし、自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	自然とのふれあいや森林の多面的な利活用の推進	拡 森 森林サービス産業総合対策事業	⑨	13	
				森 開かれた里山の整備・利用推進事業			
		デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現	デジタル実装による地方の課題解決	譲 譲	県営射撃場運営事業		
					戸隠森林植物園・森林学習館管理費		
譲 県民の森管理事業							
譲 スマート林業構築普及事業							
譲 森林路網DX推進事業							
4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	働き方改革を推進し、就労支援を強化する	働き方改革の推進と就労支援の強化	多様な人材の労働参加の支援	森 多様な林業の担い手確保育成事業〔再掲〕	⑥	9	
5 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる	高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成	地域中核人材の育成	譲 林業大学校運営費〔再掲〕			






新：新規事業 森：長野県森林づくり県民税活用事業（一部活用含む）

譲：森林環境譲与税活用事業（一部活用含む）

# 主要事業一覧




林務部

※【新】：新規事業、【地】：地域振興局長からの提案、意見等反映事業

事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)	事業内容及び金額 (千円) (*は成果目標)								
◎ 持続的な木材供給が可能な森林づくり									
<p>【地】</p> <p>1 木造・木質化支援事業費 [100301]</p>   	<p>県産材利用に対する理解を深めてもらうため、県民が多く訪れる民間施設・公共施設等の木造・木質化やこれに併せて行う調度品の設置を支援し、「あたりまえ」に県産材を利用する環境づくりを進めます。</p> <p>【拡】・広く県民が利用する施設等の木造化・木質化等を支援 ・長野県産材CO2固定量の認証 ・木工体験の推進</p> <p>*木造・木質化の箇所数：11箇所（2026年度）</p> <table border="1" data-bbox="555 734 1503 801"> <tr> <td>県産材利用推進室</td> <td>R 8 予算</td> <td>62,000</td> <td>R 7 当初</td> <td>62,000</td> </tr> </table>				県産材利用推進室	R 8 予算	62,000	R 7 当初	62,000
県産材利用推進室	R 8 予算	62,000	R 7 当初	62,000					
<p>2 信州の木供給体制整備事業費 [100301]</p>   	<p>品質の高い県産材製品の利活用を図るため、住宅や非住宅分野での需要拡大や安定的な供給体制の整備を進めます。</p> <p>【拡】・県産材の安定供給を図るため、非住宅建築物において需要が見込まれる大径材にも対応したJAS構造材の供給体制を整備 【拡】・住宅分野への県産材の利用促進のため、製材工場や工務店等が連携して県産材をPRする取組を支援 ・木造建築における県産材利用の拡大に向けた現状把握・分析を行うため、県産材利用実態調査を実施 ・建築士等を対象とした木造・木質化の促進に関するセミナーを開催</p> <p>*JAS認証の取得数：2件（2026年度）</p> <table border="1" data-bbox="555 1288 1503 1355"> <tr> <td>県産材利用推進室</td> <td>R 8 予算</td> <td>14,458</td> <td>R 7 当初</td> <td>19,462</td> </tr> </table>				県産材利用推進室	R 8 予算	14,458	R 7 当初	19,462
県産材利用推進室	R 8 予算	14,458	R 7 当初	19,462					
<p>3 信州アカマツの恵み循環事業費 [100301][100401][100404]</p>   	<p>アカマツを持続的に活用できる仕組みを構築するため、松くい虫被害対策を推進するとともに、資源としての木材の高付加価値化に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松くい虫被害を受けたアカマツの伐採及び再生林に要する経費を支援</li> <li>販路拡大に向けた市場調査等を実施</li> <li>苗木生産に必要な生産資材の導入を支援</li> </ul> <p>*林業産出額：52.1億円（2020年度）→71.7億円（2027年度） *対策対象森林における松くい虫被害量の2024年度比増加量：0m<sup>3</sup>（2027年度）</p> <table border="1" data-bbox="555 1780 1503 1850"> <tr> <td>県産材利用推進室 森林づくり推進課</td> <td>R 8 予算</td> <td>397,100</td> <td>R 7 当初 [R7.9月補正]</td> <td>0 [476,000]</td> </tr> </table>				県産材利用推進室 森林づくり推進課	R 8 予算	397,100	R 7 当初 [R7.9月補正]	0 [476,000]
県産材利用推進室 森林づくり推進課	R 8 予算	397,100	R 7 当初 [R7.9月補正]	0 [476,000]					

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDG s のアイコン)</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額 (千円) (*は成果目標)</p>							
<p>4 信州の森林づくり事業補助金 (再造林の加速化) [100404]</p>  <p>森林づくり推進課</p>	<p>主伐・再造林の加速化を図るため、森林所有者の費用負担が大きい主伐後の再造林や初期保育作業等に要する経費を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再造林や初期保育作業に要する経費を支援</li> <li>【拡】・条件不利地 (急傾斜地) での再造林に要する経費を支援</li> </ul> <p>*再造林面積：740ha (2026年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 8 予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">365, 664</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 7 当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">244, 860</td> </tr> </table>				R 8 予算	365, 664	R 7 当初	244, 860
R 8 予算	365, 664	R 7 当初	244, 860					
<p>5 優良苗木の安定供給促進事業費 (一部再掲) [100404]</p>  <p>森林づくり推進課</p>	<p>林業用優良苗木の生産拡大・安定供給を図るため、苗木生産設備に係る経費を支援するとともに、優良苗木の生産指導や県管理採種園の整備等を行い、主伐後の確実な再造林を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【拡】・苗木生産に必要な資材の導入を支援</li> <li>・苗木生産者育成のための講習会を開催</li> <li>・種子生産量増加のため県管理採種園を整備</li> </ul> <p>*県管理採種園の整備：8箇所 (2026年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 8 予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">22, 579</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 7 当初 [R7. 9月補正等]</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">28, 106 [24, 840]</td> </tr> </table>				R 8 予算	22, 579	R 7 当初 [R7. 9月補正等]	28, 106 [24, 840]
R 8 予算	22, 579	R 7 当初 [R7. 9月補正等]	28, 106 [24, 840]					
<p>6 林業就業者の確保・育成事業費 [100202]</p>  <p>信州の木活用課</p>	<p>林業就業者を着実に確保するため、県外からの移住や他産業からの転職を支援するほか、兼業等の多様な人材を林業への就業につなげるための取組を進める林業事業体を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外からの移住者に対して移住経費を支援</li> <li>・他産業からの転職者等に対して就業準備経費を支援</li> <li>・兼業や就業体験等の受入れを行う林業事業体及び就業体験者を支援</li> </ul> <p>*新規林業就業者数：120人 (2026年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 8 予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">35, 443</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 7 当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">52, 560</td> </tr> </table>				R 8 予算	35, 443	R 7 当初	52, 560
R 8 予算	35, 443	R 7 当初	52, 560					
<p>7 林業労働災害防止対策事業費 [100202]</p>  <p>信州の木活用課</p>	<p>他産業に比して多い林業労働災害を防止するため、林業技能の向上、チェンソー作業の安全啓発イベントの開催、安全装備の導入等を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【新】・林業技能検定の資格取得を支援</li> <li>・労働安全意識の醸成を図るための伐木競技会を開催</li> <li>・クマ撃退スプレー、ヘルメット、空調服等、林業従事者の安全を確保する装備品等の導入を支援</li> </ul> <p>*労働災害発生を抑止：53件未満 (2026年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 8 予算</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">11, 410</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">R 7 当初</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">13, 036</td> </tr> </table>				R 8 予算	11, 410	R 7 当初	13, 036
R 8 予算	11, 410	R 7 当初	13, 036					

<p style="text-align: center;">事業名 [事業改善シート番号] (関係するSDGsのアイコン)</p>	<p style="text-align: center;">事業内容及び金額 (千円) (*は成果目標)</p>							
<p><b>【地】</b> 8 木曾谷・伊那谷フォレストバレー形成事業費 [100202]</p>  <p>信州の木活用課</p>	<p>森林や林業に関する教育機関や試験研究機関が集まる木曾谷・伊那谷の強みを活かし、木や森に関心のある人が県内外から訪れる人材育成とイノベーションの拠点地域を形成するため、関係機関や民間による多様なプロジェクトを実施します。</p> <p><b>【拡】</b>・木や森に関する学びや人材育成のプロジェクトを実施 <b>【新】</b>・フォレストバレーチェーンソークラブの創設 ・木曾谷・伊那谷フォレストバレー運営協議会の運営</p> <p>*木や森に関するプロジェクトの実施：13プロジェクト (2026年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>R 8 予算</td> <td>26,381</td> <td>R 7 当初</td> <td>19,453</td> </tr> </table>				R 8 予算	26,381	R 7 当初	19,453
R 8 予算	26,381	R 7 当初	19,453					
<p><b>◎ 県民が恩恵を享受できる森林づくり</b></p>								
<p>9 森林サービス産業総合対策事業費 [100203]</p>  <p>信州の木活用課</p>	<p>森林空間を健康、教育、観光などの様々な分野で活用する森林サービス産業を振興するため、事業者の交流やマッチングを支援する窓口の運営、創業・活動に対する支援のほか、里山や学校林を活用した森林環境教育への支援を行います。</p> <p><b>【拡】</b>・森林整備を行う地域と企業とのマッチング支援 ・支援窓口の運営、専門家派遣等による活動支援 ・森林環境教育のフィールド整備や活動経費の支援</p> <p>*サービス産業に取り組む地域(プロジェクト)数：10地域(2026年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>R 8 予算</td> <td>36,595</td> <td>R 7 当初</td> <td>35,964</td> </tr> </table>				R 8 予算	36,595	R 7 当初	35,964
R 8 予算	36,595	R 7 当初	35,964					
<p><b>◎ 県民の暮らしを守る森林づくり</b></p>								
<p><b>【地】</b> 10 ツキノワグマ被害対策緊急対応事業費 [100406]</p>  <p>森林づくり推進課</p>	<p>加害個体へ迅速に対応するため、広域的な連携体制の強化、科学的知見に基づくDNA鑑定等、現場ニーズに即した緊急的かつ実効性の高い対策を総合的に実施します。</p> <p><b>【拡】</b>・広域連携クマ対策チームによる捕獲対策、緊急防除を実施 ・人身被害発生時等における早急な加害個体特定のためのドローン捜索及びDNA鑑定の実施</p> <p>*ツキノワグマによる人身被害：0人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>R 8 予算</td> <td>8,271</td> <td>R 7 当初</td> <td>4,225</td> </tr> </table>				R 8 予算	8,271	R 7 当初	4,225
R 8 予算	8,271	R 7 当初	4,225					
<p><b>【地】</b> 11 市町村森林整備支援事業費 [100101]</p>  <p>森林政策課</p>	<p>住民生活に直結する地域課題に対応するため、市町村が実施する森林整備の取組を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフライン等の保全のための支障木等の伐採</li> <li>・ツキノワグマ等の野生鳥獣による被害防止のための緩衝帯の整備</li> <li>・病虫害被害の初期段階における被害木処理や枯損木の有効活用</li> </ul> <p>*市町村による森林整備(森林病虫害以外)実施箇所数：84箇所(2026年度) *市町村による森林病虫害対策実施量：2,803m<sup>3</sup>(2026年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>R 8 予算</td> <td>202,000</td> <td>R 7 当初</td> <td>166,300</td> </tr> </table>				R 8 予算	202,000	R 7 当初	166,300
R 8 予算	202,000	R 7 当初	166,300					

<b>事業名</b> [事業改善シート番号] (関係するSDG s のアイコン)	<b>事業内容及び金額 (千円)</b> (*は成果目標)																	
12 補助公共事業費 (一部再掲) [100204][100401][100404]  信州の木活用課 森林づくり推進課	森林資源を有効活用するための林道等の路網整備、山地災害を防止するための治山施設等の整備、森林を健全な姿で次世代に引き継ぐための間伐等の森林整備に取り組みます。 <table border="1" data-bbox="810 376 1248 528"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林道</td> <td>942,259 千円</td> </tr> <tr> <td>治山</td> <td>3,406,690 千円</td> </tr> <tr> <td>造林</td> <td>2,451,001 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,799,950 千円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="560 555 1498 629"> <tbody> <tr> <td>R 8 予算 [債務負担行為額]</td> <td>6,799,950 [227,000]</td> <td>R 7 当初 [R7.9月補正等]</td> <td>6,666,906 [2,768,834]</td> </tr> </tbody> </table>				区分	予算額	林道	942,259 千円	治山	3,406,690 千円	造林	2,451,001 千円	計	6,799,950 千円	R 8 予算 [債務負担行為額]	6,799,950 [227,000]	R 7 当初 [R7.9月補正等]	6,666,906 [2,768,834]
区分	予算額																	
林道	942,259 千円																	
治山	3,406,690 千円																	
造林	2,451,001 千円																	
計	6,799,950 千円																	
R 8 予算 [債務負担行為額]	6,799,950 [227,000]	R 7 当初 [R7.9月補正等]	6,666,906 [2,768,834]															
13 県単独公共事業費 (一部再掲) [100204][100401][100404]  信州の木活用課 森林づくり推進課	林道の整備、小規模な荒廃山地の復旧、森林づくり県民税を活用した防災・減災対策、里山の森林整備に取り組みます。 <table border="1" data-bbox="810 770 1248 922"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林道</td> <td>10,260 千円</td> </tr> <tr> <td>治山</td> <td>261,396 千円</td> </tr> <tr> <td>造林</td> <td>530,137 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>801,793 千円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="560 949 1498 1032"> <tbody> <tr> <td>R 8 予算</td> <td>801,793</td> <td>R 7 当初 [R7.9月補正]</td> <td>701,504 [256,923]</td> </tr> </tbody> </table>				区分	予算額	林道	10,260 千円	治山	261,396 千円	造林	530,137 千円	計	801,793 千円	R 8 予算	801,793	R 7 当初 [R7.9月補正]	701,504 [256,923]
区分	予算額																	
林道	10,260 千円																	
治山	261,396 千円																	
造林	530,137 千円																	
計	801,793 千円																	
R 8 予算	801,793	R 7 当初 [R7.9月補正]	701,504 [256,923]															
14 直轄事業負担金  森林づくり推進課	国が進める松川入地区、小渋川地区、姫川地区における治山施設の整備事業に対して法令に基づく負担金を支出します。 <table border="1" data-bbox="810 1182 1248 1276"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治山</td> <td>371,000 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>371,000 千円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="560 1361 1498 1431"> <tbody> <tr> <td>R 8 予算</td> <td>371,000</td> <td>R 7 当初 [R7.1月補正]</td> <td>467,000 [76,800]</td> </tr> </tbody> </table>				区分	予算額	治山	371,000 千円	計	371,000 千円	R 8 予算	371,000	R 7 当初 [R7.1月補正]	467,000 [76,800]				
区分	予算額																	
治山	371,000 千円																	
計	371,000 千円																	
R 8 予算	371,000	R 7 当初 [R7.1月補正]	467,000 [76,800]															

## 【事業内容】

緩衝帯の整備、ライフライン沿いの危険木の伐採や森林外など国庫補助対象外となる病虫害被害対策など、地域の課題解決に向けた市町村による森林整備の取組を支援

## 【R7年度からの変更点】

- ・ ライフライン等の保全対策と緩衝帯整備事業は、災害対策やツキノワグマ出没の増加により地域ニーズが高まったため、目標値及び事業費を上方修正して継続実施
- ・ 市町村の状況に応じて柔軟に対応できるよう3事業（下記赤枠内事業）を統合し、事業枠を柔軟に活用できる仕組みへ見直し

区分	事業内容（補助率）		R8 予算額 （案）	R7 予算額	R8事業目標 （5年間）
ライフライン等の保全対策	○ライフライン等保全のための支障木等の伐採（9/10以内）		61,000 千円	40,000 千円	30箇所 (190箇所)
観光地の景観整備	○観光地の魅力向上に向けた森林整備（9/10以内）		27,000 千円	24,300 千円	20箇所 (100箇所)
緩衝帯の整備	○野生鳥獣による被害防止のための森林整備（9/10以内）		40,000 千円	28,000 千円	34箇所 (150箇所)
森林の病虫害被害対策	○病虫害被害による枯損木の有効活用（9/10以内） ○森林外や未被害市町村での被害木処理等（1/2以内）		74,000 千円	74,000 千円	2,803m <sup>3</sup> (15,400m <sup>3</sup> )

- 主伐再造林の推進など、ゼロカーボン実現や林業振興のための森林整備を支える**林業人材を着実に確保・育成するため、林業労働力関連施策を展開**
- 新規就業者120人/年の確保、林業労働災害の半減**を目指し、**裾野の拡大から就業後の定着促進まで各段階での体系的かつ総合的な支援策を展開**（5年間で最大100人の増員（就業者1,500人→1,600人）を目指す）
- R8年度は、**林業技能検定の資格取得の支援、林業就業者の林業技能の再教育を実施し、安全な林業を推進**

## I、Ⅲ、Ⅳ計 主要事業一覧No.6 35,443千円

### I 新規就業者の確保

#### 転職・移住者等への支援金給付等

①は全77市町村が対象

- ①他県から移住して就業した際の支援金(60万円or100万円)
  - ②林業への新規参入者に対する支援金(10万円/人)
- <働いていない人やフリーター等も対象>

#### 兼業及び就業前体験受入れ支援

- ・兼業、林福連携、林業就業体験の受入れ支援
- <インターンシップ等の林業就業体験も対象>
- <体験者の交通費及び宿泊費を支給>

#### 就業希望者へのセミナーの開催等

【説明会の回数を倍増】

〔抜〕 共同就職説明会(年4回)、林業セミナー(年6~7回)

### Ⅱ 保育従事者の確保

#### 保育従事者のマッチング

- ・保育従事者を雇用する事業者と素材生産事業者の圏域を越えたマッチング
- ・主伐・再造林を推進するための専門的な見地からの指導・助言

### Ⅲ 多様な担い手確保・創業支援

#### 他業種とのマッチング・新規参入支援

- ・一人多役の働き方を推進するため、林業事業体と他業種とのマッチングを促進(兼業・副業)
- ・新たに造林事業を始めようとする事業者に対して機械等の導入経費を支援し、創業を後押し

### Ⅳ 林業認知度向上

#### 認知度向上に向けた取組を実施

- ・子供の頃から、職としての林業を知ってもらうため、中学校の職業体験、高校生の林業体験研修
- ・各種イベント(移住フェア、森林・林業フェア等)へブース出展



- ・林業の仕事情報を一元的にまとめたポータルサイト(ながの森ジョブ.BASE)により、事業者の情報やイベント情報を発信

ながの森ジョブ.BASE



### V 定着促進

#### 持続的な林業経営支援

- ・経営力、生産性の向上(スキルアップ講座)
- ・キャリアモデルの普及(優良モデルの分析や紹介)

#### 就労条件の整備

- ・退職金共済掛金、特殊健康診断、蜂アレルギー検査等補助(1/3)

#### 新規・継続雇用支援

- ・3か月以上雇用する林業従事者が前年度から増加した際に奨励金を支給(一人12万円/月(最長3ヶ月分))
- ・新規採用者に対する資格取得補助

#### 安全対策の強化

主要事業一覧No.7 労働安全衛生対策の支援  
11,410千円

- 〔新〕 林業技能検定の取得促進の支援
- ・安全意識醸成のための、伐木協議会の開催



- 新たに創設された国家認定制度の「**林業技能検定**」の資格取得を通じて、**林業就業者の林業技能の再教育を推進**
- 安全技術の向上に関する取組と有機的に組み合わせることにより、**林業就業者の安全技術レベルの底上げ**を図る。

## 課題と背景

### 1. 林業界の課題

■ 他産業と比べて著しく高い**労働災害**の発生割合

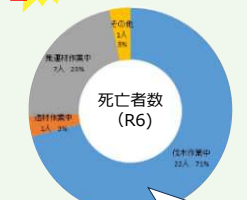
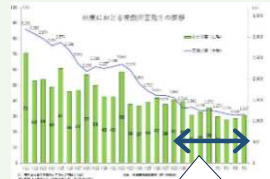
死傷年千人率：**林業 23.3%** ↑ **約10倍**  
 全産業平均 **2.3%**

■ 林業における

**死亡災害の約7割が伐木作業**  
(R6年・全国)



**安全かつ正確なチェーンソー技術**  
を習得できる人材育成環境が不可欠



### 2. 安全技術の向上に関する主な新たな取組

【これまで】

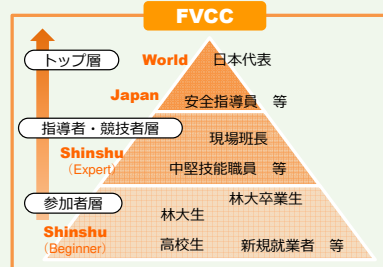
#### ① 信州伐木チャンピオンシップ (R6~)



チェーンソー技術の**安全性・正確性・スピード**を競う大会を開催  
→ 技術と安全意識の向上・事業者間の交流・林業の魅力のPR

【R8~】

#### ③ フォレストバレーチェーンソークラブ (FVCC) の創設



県内各地域から林業就業者や学生が集い、チェーンソー技術を磨き互いに学び合う環境を整備

#### ④ 林業技能検定の資格取得支援

詳細は、右欄をご覧ください

#### ② 林業労働災害レスキュー講習会 (R7~)



事故が発生した場合に備え、より実践的なレスキュー訓練を実施  
→ 消防等の連携し、現場の特性などに応じた内容を実施  
(斜面歩行・搬送・クマ外傷など)

## 林業技能検定制度の実施内容と目指す姿

### 3. 林業技能検定の概要

#### (1) 林業技能検定

- 技能検定（厚労省）の検定職種に林業職種が追加（R6年度～）
- 試験内容は林業技能の再教育（リスキリング）に最適な内容
- 検定に合格すると、「林業技能士」と名乗ることができる（林業以外には132職種の試験あり）

#### (2) 資格取得のメリット

- 技能実習生を受け入れる際に必要な指導員の資格要件（R6～）
- 国総合評価落札方式に林業技能士に関する評価基準の追加（R7～）
- 森林環境保全整備事業における現場監督費への加算（R8～検討中）

### 4. 支援内容（予算額（案）：1,903千円）

- 林業技能検定研修会の開催**（予算額（案）915千円）  
技能検定受験者を対象とした研修会の開催、検定PRの実施
- 林業技能検定受験費用の補助**（予算額（案）988千円）  
補助の対象：資格取得に要した経費（受験料）  
補助率：定額補助（10/10）上限20千円/人

### 5. 目指す姿

資格取得を通じて、**労働災害の減少**はもとより、

- 林業従事者の**林業技能の向上**
- 技能の習得レベルを公平に評価し、**キャリアアップ（賃上げ等）**
- 林業の**社会的・経済的地位の向上**につなげる。



- R7年度に策定した「木曾谷・伊那谷フォレストバレー基本構想」に基づき、目指す姿の実現に向けた取組を着実に推進
- 当面の取組として、Ⅰ) 教育機関や人材育成機関の更なる魅力向上、Ⅱ) 関係機関や民間事業者の連携による多彩な取組の展開、Ⅲ) 幅広い層へ向けた情報発信による認知度向上を3つの柱として重点的に推進し、フォレストバレーの形成に向け機運を醸成

## フォレストバレー基本構想

※R7.7月策定

**基本理念** 木や森の「学び」と「暮らし」に会える場所

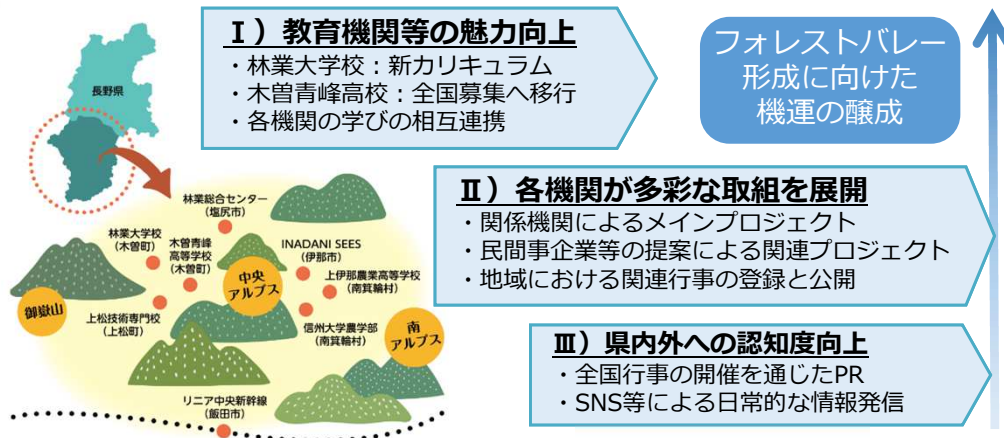
**基本方針** 木曾谷・伊那谷での木と森に関する学びを活かし、新たな時代を支える人材を育成するとともに豊かな暮らしや多様なビジネスを創出

**木曾谷・伊那谷フォレストバレーが目指す姿 【2050年】**

- ① 木や森に関する学びや人材育成の拠点地域
- ② 森林資源を活かしたイノベーションと雇用が生まれる地域
- ③ これらが地域ブランドとして確立し、国内外の交流が生まれる地域

## 当面の取組

※開始から概ね10年後まで



**【参考：基本目標】(2035年)**  
当面の取組の指標として以下のとおり設定  
(基本構想より抜粋)

- ・学びのプログラムの参加者数 1,000人/10年間
- ・教育機関等の志願倍率 R6年度入学生以上
- ・総プロジェクト数 50プロジェクト/10年間

人材を持続的に輩出  
イノベーションの創出

地域内外へ波及

木や森に関心のある人は  
木曾谷・伊那谷へ  
進学 / 就職 / 起業・創業 / 移住  
各種講座やイベントへの参加

## R8の重点取組事項

### Ⅰ 教育機関等の魅力向上と連携促進

#### 教育機関等の魅力向上

- **林業大学校の新カリキュラムスタート(拡)**
  - ・より幅広い視野を持つ新時代の人材を育成
  - ・R9のオーストリア研修再開に向け先遣隊派遣
- 各機関の情報発信を強化(募集案内等)

#### 各機関の連携促進

- 運営協議会の開催
  - ・各プロジェクトの情報等を横展開
- 関係機関の連携活動を支援
  - ・例：木曾地域3校連携

### Ⅱ 関係機関等の連携による多彩な取組を展開

#### メインプロジェクト 7プロジェクト

- ✓ **【中核】高度人材育成プロジェクト(拡)**
- ✓ **【中核】森林ベンチャースクールプロジェクト**
- ✓ 目指せ世界水準 林業技能向上プロジェクト
- ✓ 課題発見サマースクールプロジェクト (信大)
- ✓ 木工拠点形成プロジェクト (上松技専)
- ✓ 木と森の暮らしと働き創出プロジェクト (木曾地)
- ✓ 学びの拠点形成プロジェクト (林総ゼ)

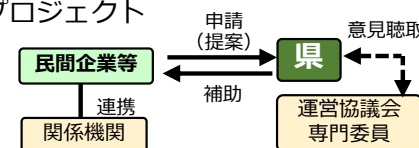
フォレストバレー  
チェンソークラブ  
(FVCC)の創設

学びの入口からアントレプレナーシップ教育、創業の支援まで幅広い段階と領域をカバー



#### 関連プロジェクト 支援対象：6プロジェクト

- 民間の柔軟な発想と企画力・訴求力を活かした提案型プロジェクトを支援
- ✓ 継続 3件 / 新規 3件



### Ⅲ 県内外へ向けた認知度向上

#### 全国行事の開催

- **カラマツ林業150年サミット(仮)**
- **FOSS4GShinshu 2026(仮)**

#### 関連情報の収集と発信

- 地域おこし協力隊等による情報収集と発信
- 関連行事や賛助機関の掘り起こしと紹介
- ポータルサイトやSNSを通じた発信

- ・県内各地域から林業就業者や学生が集い、**チェーンソー技術を学び合う全国随一の環境を整備するため、フォレストバレーチェーンソークラブを創設**
- ・これにより県内林業全体の**安全技術レベルの底上げ**を図るとともに、**林業の魅力**を広く発信し、**林業就業者の地位の向上と担い手確保**を目指す。

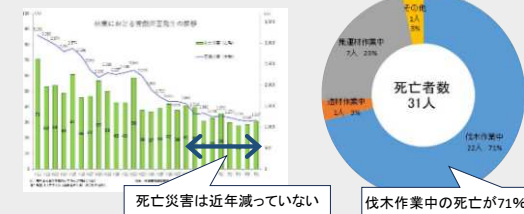
## 課題と背景

### 林業界の課題

■ 他産業と比べて著しく高い**労働災害**の発生割合

死傷年千人率：**林業 23.3%** **↑約10倍**  
 全産業平均 **2.3%**

■ **死亡災害の約7割が伐木作業**  
 (R6年・全国)



**安全かつ正確なチェーンソー技術**  
 を習得できる人材育成環境が不可欠

### 安全技術向上に向けた県内の取組

■ **長野県林業大学校における高度なチェーンソー教育**



ハスクバーナ・ゼノア(株)との教育連携協定に基づく「トップガン研修」(安全性を追求した世界レベルの技術習得)

▶ **5S林業の実現に向けて**

- Safety** (安全に)
- Smoothly** (効率的に)
- Smart** (格好よく)
- Salary** (稼ぐ)
- Sustainable** (持続的に)

H29全国林業後継者大会で長野県林業大学校の学生が提唱した「これからの林業就業者象」

■ **信州伐木チャンピオンシップの開催 (R6~)**



チェーンソー技術の**安全性・正確性・スピード**を競う大会を開催  
 → 技術と安全意識の向上・事業者間の交流・林業の魅力のPR

■ **全国・世界大会での活躍**

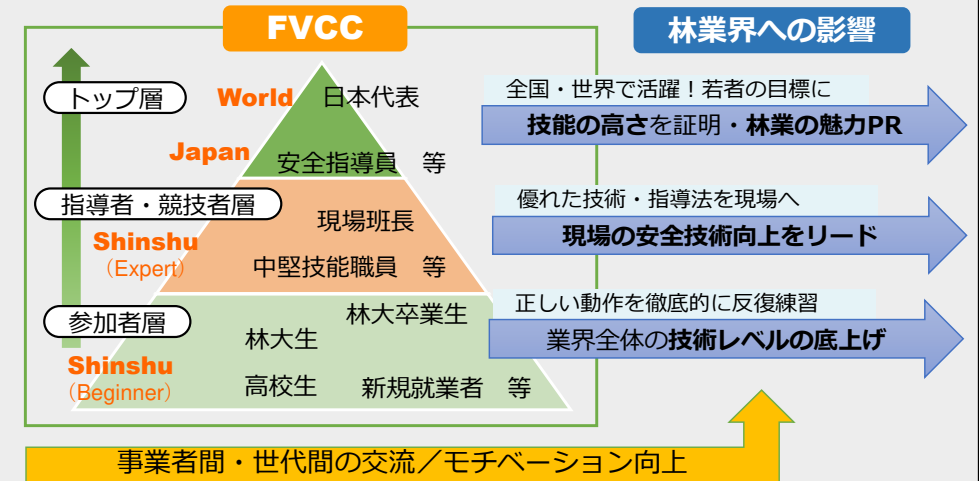


JLC※1 in 鳥取2025で長野県の3選手が上位入賞 → WLC2026※2に出場!

一方、林業大学校での実習や初期段階の安全教育を除けば、林業就業者のスキルアップは個々の林業事業体が行うOJT及び林業就業者有志の自主練習に委ねられているのが現状

→ **意欲ある林業就業者の自主活動を横展開し、県内の誰もが技術習得に励める場を創設**

## チェーンソークラブの活動とねらい



拠点: 長野県林業大学校



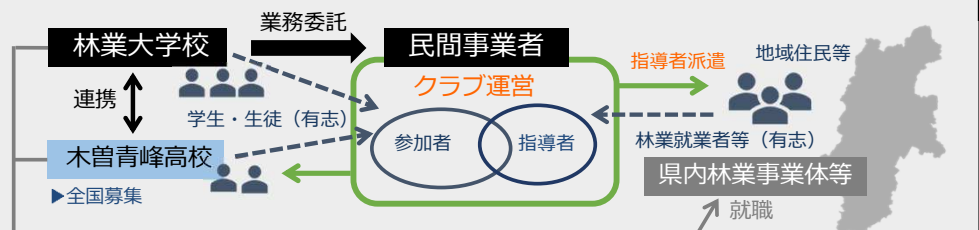
県内の林業就業者・林大生・高校生等が参加



教え合い・学び合いの場



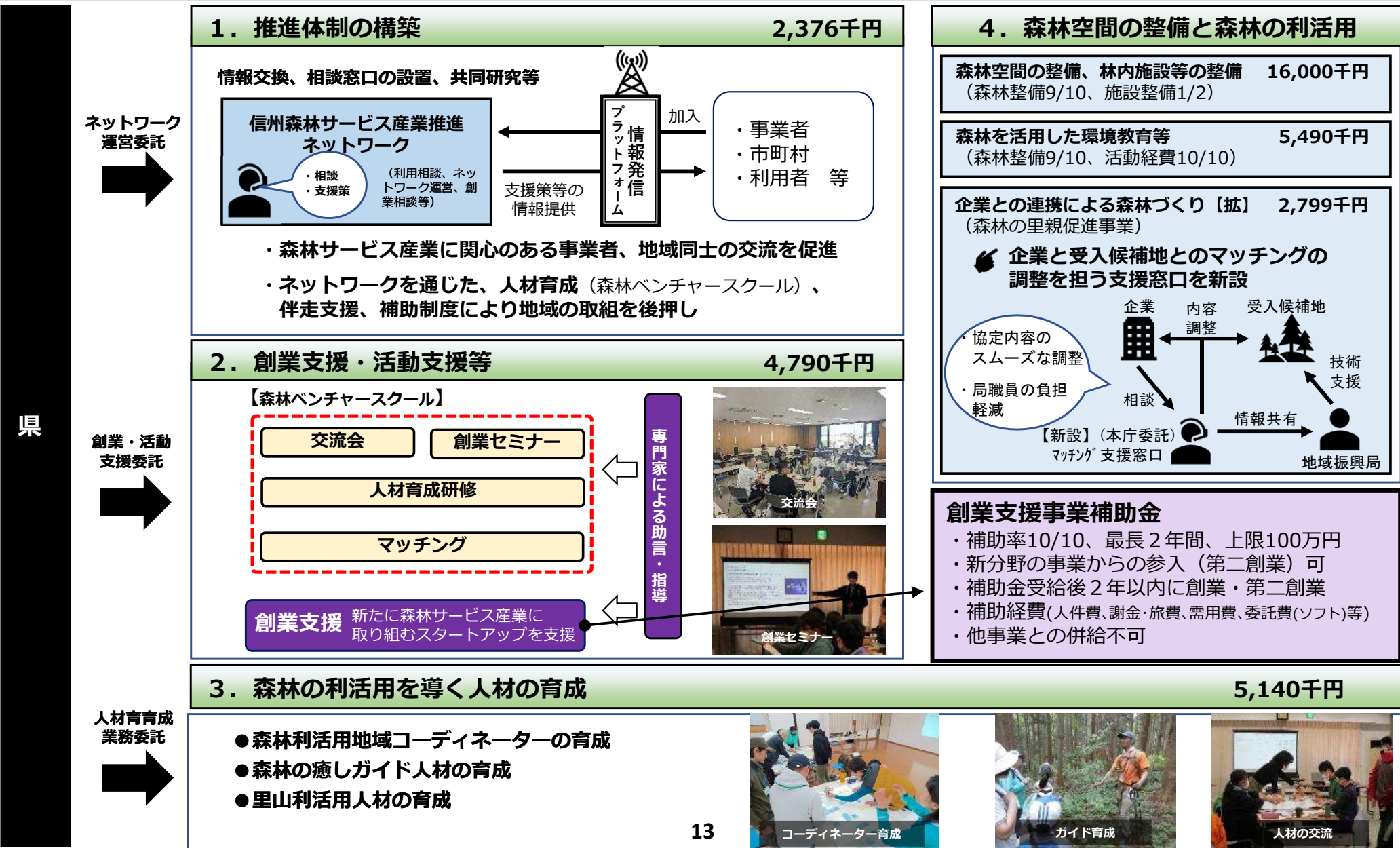
指導人材の輩出 → 持続的な人材育成



各学校の魅力向上 + リカレント教育の機会確保 + 安全技術の普及・定着

※1 JLC: 日本伐木チャンピオンシップ ※2 WLC: 世界伐木チャンピオンシップ

- 「信州森林サービス産業推進ネットワーク」を通じて、森林の健康、教育、観光等の分野での活用に向け、様々な支援策の情報発信や相談対応を行うとともに、**創業時の支援や活動支援、人材育成等の地域の課題**に対応
- 「森林の里親促進事業」については、企業と受入地との**調整を担う支援窓口を設置し、マッチング体制を強化**するとともに地局職員の**負担軽減**を図る



令和6年度に「信州の豊かな森林と環境を守る県産材利用促進条例」が制定され、条例の趣旨を踏まえ、令和7年度に「長野県内の建築物等における県産材利用方針（県産材利用方針）を抜本的に見直し。令和8年度は、条例や県産材利用方針に対応した施策を推進し、県産材の安定的な供給体制の確立と様々な用途での県産材需要の拡大を図る。

## 県産材利用方針の見直し に対する対応

### 県以外による建築物における県産材の利用の促進

民間事業者を含めた県以外による公共建築物においても県産材利用を促進するとともに、公共建築物以外の「住宅」と「住宅以外」の建築物においても県産材利用を促進

### 県産材及び県産材製品の産地づくり、販路拡大

地域の特徴を活かした産地形成や県産材のPR等を通じた販路拡大などを推進

### 県産材の利用による脱炭素社会に向けた取組の推進

県産材CO2固定認証制度等のこれまでの取組について、国の動向に合わせた改善などを実施

### 人材の確保及び育成、普及啓発

県産材に関する助言等を行う専門人材の育成や木育等による普及啓発などを実施

### 県産材の安定供給の促進

原木の安定供給の観点から、森林整備の推進による資源の循環利用を促進



つながる木のいのち

## 対応する事業のうち新規・拡充

### 県以外の建築物における県産材の利用の推進（非住宅）

#### 木造・木質化支援事業

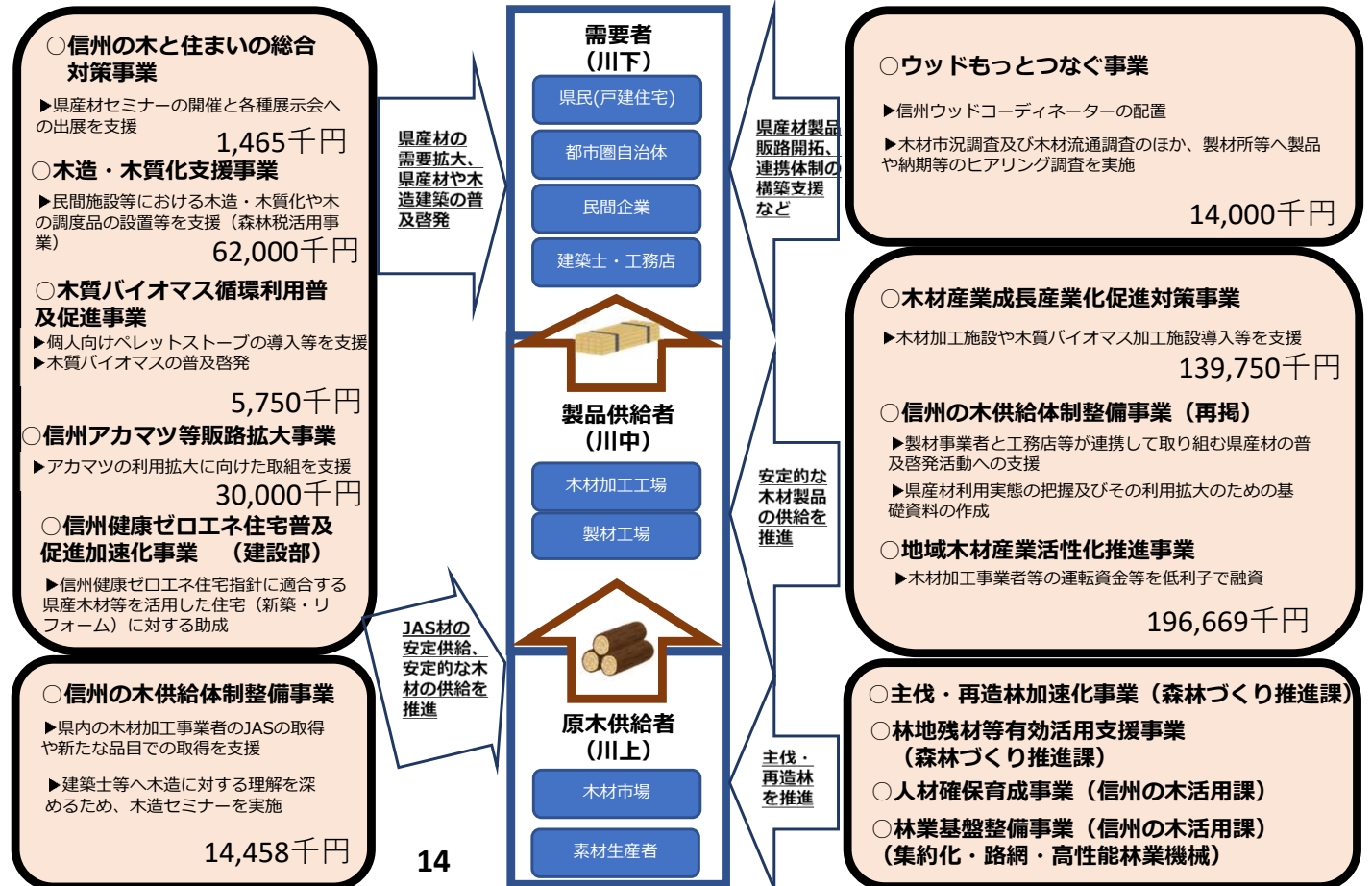
- ▶木造設計の支援を新設
- ▶市町村の支援対象を拡大するとともに木造化（一般）単位面積当たりの補助金上限額を見直し

### 県以外の建築物における県産材の利用の推進（住宅）

#### 信州の木供給体制整備事業

- ▶新たに製材工場と工務店が連携してエンドユーザーに県産材をPRする取組を支援

## R8当初予算案



- ◆ 県産材利用の意識の向上のため、県民に身近で波及効果が高い空間に県産材を利用し、県民が県産材の良さを体感できる施設の整備を推進（R7～中大規模施設への支援を拡充）
- ◆ **R8年度から、新たに木造建築に係る設計費用の補助を新設**するとともに、一部要件の緩和を行い、利用促進を図る

## 補助事業の内容

### 【補助事業概要】

- 事業主体 : 民間事業者、市町村等
- 補助率 : 1 / 2以内（市町村にあつては1 / 3以内）
- 補助内容 : 民間施設・市町村施設の木造・木質化及び県産材の調度品等の設置

区分	補助額の上限
木質化	2,000千円
木造化（一般）	5,000千円
木造化（中大規模施設）	30,000千円
<b>設計【新設】</b>	<b>2,000千円</b>

### <拡充内容>

#### ▶ 木造設計の支援を新設

設計段階において、「木造設計に不慣れ」、「非木造よりコストがかかる」等を理由に木造化が敬遠されることがあることから、新たに設計を支援することにより非住宅建築物の木造化を推進

#### ▶ 市町村の対象を拡大

市町村が事業主体となる場合の対象施設として、木造化（一般）に広く県民が利用する施設（例：店舗、飲食店、診療所等）を、木造化（中大規模施設）に子どもの居場所（例：木育施設、保育園等）を、それぞれ追加するよう対応予定

#### ▶ 木造化（一般）の単位面積あたりの補助金上限額を見直し

木造化（一般）について、令和7年度は1.7万円/m<sup>2</sup>としていたものを、令和6年度までと同様に単位面積あたりの補助金上限額を適用しない形での対応を予定

## これまでの実績

	民間施設等 (件)	県有施設 (件)	補助内容
R 5 実績	4	3	保育園、地域交流施設、伊那合庁 等
R 6 実績	7	5	美容室、診療所、県立長野図書館 等
R 7 見込	7	9	製品ショールーム、飲食店、佐久合庁 等

## 補助事例

美容室の木造・木質化（R6）



県立長野図書館の木質化（R6）



- ◆ 品質の高い県産材製品の利活用を図るため、**住宅**や**非住宅分野**での需要拡大や安定的な供給体制の整備を推進
- ◆ **R8年度から、新たに、製材工場と工務店等が連携して県産材をPRする取組の支援を開始**するほか、建築士等に対する県産材利用セミナーや、今後重要となる県内製材工場のJAS構造材の取得認証を促進する支援を拡充

## 新 住宅分野への県産材PRの推進（木造セミナー：実践型）

### 県産材の魅力をもPRするため、製材工場と工務店が連携してエンドユーザーに県産材をPRする取組を支援

- 製材用木材生産量の減少の中、住宅分野において、県産材を積極的に活用してもらうアプローチが必要。
- 製材工場と連携して、施主をターゲットとして県産材の魅力をもPRする取組に対して支援
- 製材工場との連携により、持続的な県産材供給体制を構築

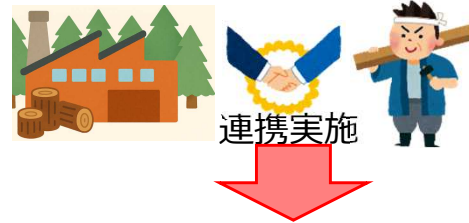
課題

製材工場

工務店等

課題

- ・地域工務店への供給減少
- ・県産材の安定供給への課題



- ・県産材のPR不足
- ・単独でPRすることは難しい

アンケートの実施  
(事業効果の検証・次年度以降の事業展開の参考のため)

住宅購入希望者  
(エンドユーザー)

#### 【事業概要】

- 事業主体 : 工務店、製材事業者等
- 補助率 : 定額(上限1,000千円)
- 補助対象経費 : 会場借上げ、講師謝礼、備品購入・レンタル、パンフレット作製費等

#### PRイベント実施(県補助)

- ・展示会への出展
- ・実際の丸太生産の現場見学
- ・補助制度(ゼロエネ)の周知など



## その他の取組

JAS製材品供給拡大支援【拡】	・非住宅建築物において需要が見込まれるJAS材の安定供給を図るため、 <b>大径材にも対応したJAS構造材の供給体制を整備</b>
木造建築の県産材利用実態調査	建築業者及び木材供給業者に利用状況や調達取組、連携体制等に関するアンケート及びヒアリング調査を実施
県産材利用推進木造セミナー	建築士など施工者側への木造に対する理解を深め、県産材の住宅・非住宅分野への利用促進を図るための普及啓発、広報やセミナーを実施

## 安定供給の推進 (JAS製材品供給拡大支援)

- 事業主体 : 木材加工事業者
- 補助率 : 1/2以内
- 補助対象 : 試験体に要する経費、審査機関へ支払う手数料等
- 事業目標 : JAS構造用製材工場 2工場



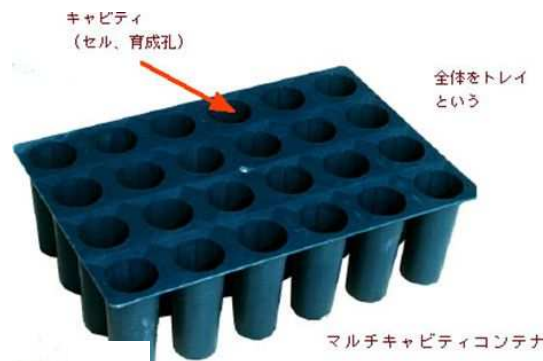
- ◆ R7年度から地域未来交付金(第2世代交付金)を活用し、アカマツを持続的に活用できる仕組みを構築するため、**松くい虫被害対策を推進**するとともに、**資源としての木材の高付加価値化**に取り組んでいるところ(3か年計画)
- ◆ R8年度は引き続き、松くい虫被害対策を推進するとともに、**抵抗性アカマツ等の苗木生産の支援**や、木材としての**アカマツの利活用に向けた全国調査・製品開発**を実施

区分	事業内容(補助率)	R8当初予算額(案)
森林整備 (公共事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病虫害被害のおそれがあるアカマツの伐採・搬出及び樹種転換を支援(7/10)</li> <li>・ 人家に近く災害の恐れがあるなど、公益性が高い森林について県が直接アカマツの伐採・搬出及び樹種転換を実施(治山事業)</li> </ul>	359,100千円
苗木生産資材の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抵抗性アカマツの苗木を大苗で生産するための生産資材(マルチキャビティコンテナ(300cc))に対して購入費を補助</li> </ul>	8,000千円
アカマツ材利活用に向けた調査・販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県外の素材生産・流通・利用状況等を調査し、マーケティング分析</li> <li>・ 方針を決定するための検討会議の運営及び、各補助事業者への指導・助言</li> <li>・ 新たな商品開発や、材の調達から販路展開を行うモデル的な取組を支援</li> </ul>	30,000千円

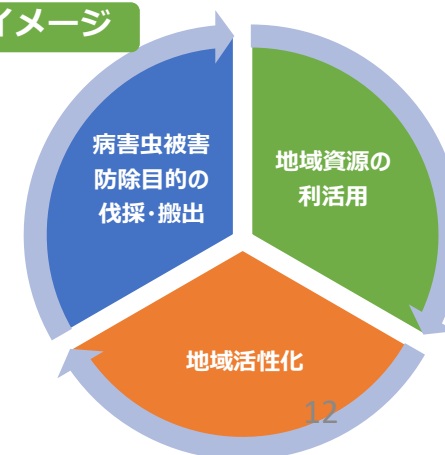
## 樹種転換



## 苗木生産資材



## 目指すイメージ



<b>現状</b>	<p>□計画的な主伐・再造林を推進し、令和14年度には80年サイクルで更新する仕組みを構築し、令和9年度は再造林面積1,000ha/年を目標としている（R8再造林目標面積840ha、うち森林税活用再造林目標面積740ha）</p> <p>□このため、信州の森林づくり事業において再造林と初期保育の嵩上げを行っているが、R6再造林目標面積520haに対して406ha（達成率78%）（うち森林税活用目標420haに対して238ha（達成率57%））に留まっている</p>
<b>課題</b>	<p>■急峻な地形で作業道の開設が困難であることや、主伐・再造林に対する事業者の不安から、地域ごとに進度に差が生じている。</p>

### 再造林面積目標の達成に向け、主伐・再造林を推進するために事業を実施

- (1) 主伐・再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等初期保育に必要な標準的経費の嵩上げ費用を支援(351,664千円)
- (2) 地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域における架線の架設撤去や保育等に係る省力化機械の経費、また傾斜による掛かり増し経費を支援（14,000千円）

### 再造林と初期保育の嵩上げ

**【補助率】**  
信州の森林づくり事業において10/10  
(国庫及び一財7/10、森林税3/10)

※標準的な経費に対する補助率

**森林の適切な更新**

●再造林や下刈りは労働強度が高く主伐・再造林が進まない要因の一つ

●森林所有者にとって主伐後の再造林は、金銭面など不安が多い

●伐採された木材が安定した量、価格で取引される仕組みも重要

### 再造林省力化モデル推進事業【拡】

急傾斜地等での主伐・再造林の省力化に係る経費を支援

- 「空の道」とも言われる架線等を活用した経費の一部を支援
- 急傾斜地（条件不利地）の掛かり増し経費を支援【拡】

傾斜による再造林に係る掛かり増し経費を支援

**架線で苗木等を運搬し省力化**

# 森林整備の推進 〔森林整備関係予算 一覧〕

- ・令和8年度は、**29.8億円**を当初予算として要求（第2世代交付金含む）
- ・令和8年1月補正予算を含めた15か月予算として**37.2億円**（対前年比114%）となる見込み
- ・令和8年度は再造林目標量が達成できるよう、**再造林の要望に対して優先的に配分**

（単位：千円、%）

事業名	R8 予算（案）			R7 予算			対前年 増減額 (a-b) 〔対前年比〕 (a/b)
	当初	R8.1月 補正	計 (a)	当初	R7.1月 補正	計 (b)	
<b>公共</b>	<b>2,451,001</b>	<b>737,829</b>	<b>3,188,830</b>	<b>2,020,000</b>	<b>803,866</b>	<b>2,823,866</b>	<b>364,964</b> <b>(112.9)</b>
信州の森林 づくり事業	2,115,001	737,829	2,852,830	2,020,000 <span style="color: red;">(内示率78.1%)</span>	803,866	2,823,866	28,964 (112.9)
(第2世代 交付金)	336,000	0	336,000	0	0	0	336,000 (皆増)
<b>県単</b>	<b>530,137</b>	<b>0</b>	<b>530,137</b>	<b>429,848</b>	<b>0</b>	<b>429,848</b>	<b>100,289</b> <b>(123.3)</b>
信州の森林 づくり事業	12,439	0	12,439	12,439	0	12,439	0 (100.0)
みんなで支える 里山整備事業	152,034	0	152,034	174,649	0	174,649	△22,615 (124.2)
再造林の加速化 (信州の森林 づくり事業)	365,664	0	365,664	242,760	0	242,760	122,904 (150.6)
<b>計</b>	<b>2,981,138</b>	<b>737,829</b>	<b>3,718,967</b>	<b>2,449,848</b>	<b>803,866</b>	<b>3,253,714</b>	<b>465,253</b> <b>(114.3)</b>

<b>現状</b>	再造林を確実に推進するため、長野県の気候や土壌に適した優良種子の確保、指定採取源(母樹)からの種子採取、優良苗木の生産指導、苗木の需給調整を行い林業用優良苗木の安定生産・供給を図る。
<b>課題</b>	主伐・再造林のため必要となる苗木を確保(R14再造林目標面積: 1,250ha)

## 取組内容

### 県管理採種園の整備 (採種園の整備・維持管理)



**【参考】**

R8.1補正: 3,000千円  
米子採種園の更新

- エリートツリー(成長に優れるカラマツ)やスギ花粉症対策品 種採種園の整備
- 採取量が低下した採種木の伐採など光環境の改善に係る整備を委託
- 初期保育コスト低減のため、コンテナ大苗の生産方法確立

### 優良種子の採取 (種子採取事業)



- 県採種園等から、スギ・ヒノキ・アカマツ・カラマツの種子を採取

### コンテナ苗の生産拡大 (コンテナ苗生産資機材の支援)



**【参考】**

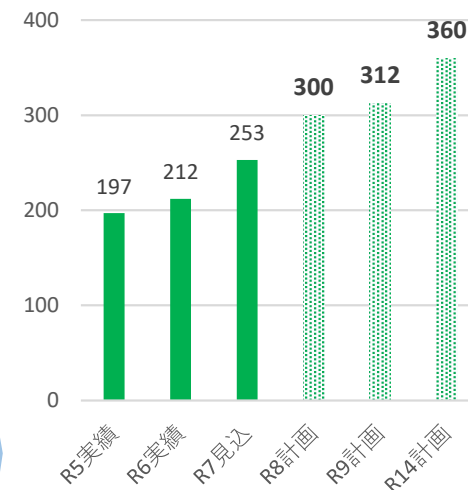
R8.1補正:  
13,000千円  
コンテナ苗  
生産資機材  
購入の補助

- 植栽時期が幅広く早期育苗・少面積施設で量産可能なコンテナ大苗の現地生産技術の向上を図る

### 後継者育成 (林業種苗生産対策事業)

- 種苗の安定的な生産・供給に資する人材育成に係る講習会等開催

(万本) 苗木生産の計画・実績



**令和14年度に年間360万本の苗木生産を目指す**

## 【現状】

「県民の命と暮らしを守るツキノワグマ対策」総合パッケージ1.1に基づき、総合的なツキノワグマ対策を展開。目標は「人身被害ゼロ」、持続可能で安全・安心な地域社会の実現を目指す。

## 【R8年度の重点取組】

①市町村が実施するツキノワグマ対策に関する支援 ②専門人材の確保と育成 ③広域的な連携体制モデルの構築

事業名	事業内容	R8(1補) 予算額(案)	R7 予算額
ツキノワグマ 総合対策事業 (R8.1補正)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クマ対策員の配置及びクマ出没情報の収集活用</li> <li>ツキノワグマの生息密度調査の実施</li> <li>市町村が実施するツキノワグマ対策に関する支援の実施 等</li> </ul>	50,200 千円	16,463 千円
ツキノワグマ対策 専門人材育成支援事業 (R8.1補正)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツキノワグマに関する専門人材養成研修の開催</li> <li>ツキノワグマ対策射撃技術向上講座の開催</li> </ul>	8,475 千円	0 千円
野生鳥獣被害対策実施隊 広域連携モデル事業 (R8.1補正)	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域単位で市町村間の連携を取り、迅速かつ効果的な被害対策を実施できる体制の整備 (広域協議会の設置、運用マニュアルの整備等の実施)</li> </ul>	9,288 千円	0 千円
ツキノワグマ被害対策 緊急対応事業 (R8当初)	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域連携クマ対策チームによる捕獲対策、緊急防除等を実施</li> <li>人身被害発生時等における早急な加害個体の捜索や鑑定の実施</li> </ul>	8,271 千円	4,255 千円

## 【現状と課題】

里地における人身被害の発生や人身被害のリスクが著しく高まっている状況においては、緊急的かつ実効性のある対策が求められる。特に危険個体への迅速な対応を図るためには、現場での安全確保に資する資機材の整備、科学的知見に基づくDNA鑑定の実施など、現場ニーズに即した支援の強化が課題であり、早急な対応が必要。

## 【事業内容】

- 広域連携クマ対策チームによる緊急防除、捕獲対策等の活動経費  
広域連携クマ対策チーム構成員：地域振興局、市町村、鳥獣保護監視員（猟友会員等）
- 人身被害発生時や発生の恐れのある危険個体出没時のドローン搜索費
- （新）捕獲個体等のDNA鑑定費

事業内容	R8 予算(案)	R7 予算額
○広域連携クマ対策チームによる緊急防除・捕獲対策の活動経費 緊急防除・捕獲対策の例 ・クマの被害等があった集落周辺の注意喚起 ・クマの被害等があった集落周辺の林縁部で出没痕跡等の早期発見 ・クマの出没の可能性が高い場所への捕獲檻設置の現地確認 等	2,240千円	2,120千円
○広域連携クマ対策チームの活動に必要な資材の購入 ※R8.1補正にて国庫補助金を利用し、早期に予算化	0千円	2,105千円
○人身被害発生時や発生の恐れのある危険個体出没時のドローン搜索費 ドローンの種類及び用途 ・サーマルカメラ搭載ドローン：建物周辺の死角になりやすい場所や夜間など視界の悪い環境でクマの個体搜索する際に有効 ・マイクロドローン：家屋等に侵入したクマの個体搜索に有効	6,001千円	6,011千円 (R7.9補正)
○（新）捕獲個体等のDNA鑑定費 捕獲個体特定のメリット：周辺住民が安心して過ごせる環境づくり 監視及び警戒にかけるリソースを調整可能 捕獲個体が属する個体群の特定及び捕獲個体と加害個体の特定等	30千円	0千円
合計	8,271千円	4,225千円

◆ 市町村からの要望や国予算の伸び率を踏まえ、令和8年度に林道や森林整備を実施するために必要な予算額を計上

		単位：千円
事業名	事業内容	R8+R8.1予算額 (15か月) 案
林道	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材を効率的・安定的に供給するため、森林路網の開設・改良・舗装を実施</li> <li>スーパー林道（南アルプス線〈伊那市〉、奈川安曇線〈松本市〉）の改良を支援</li> </ul>	1,019,723
治山	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の多面的機能の維持・強化を図るため、荒廃山地の復旧や、森林や治山施設を整備</li> <li>国庫補助の対象外となる小規模な荒廃山地の復旧や、<b>モニタリング</b></li> </ul>	5,183,887
直轄事業 負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土の保全上、特に重要と認められる場合に国が実施する事業に対し、法令に基づく負担金を支出（松川入地区、小渋川地区、姫川地区の計3箇所）</li> </ul>	371,000
造林 (信州の森林 づくり事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源の循環利用を図るとともに森林の若返りを図るため、主伐・再造林を推進</li> <li>人工造林・初期保育に対して補助率の嵩上げを実施（補助率 10/10）</li> <li>再造林時の省力化を図るため、伐採後の木材及び苗木、二ホンジカ防護柵等の造林用資材の運搬に必要な架線の設置・撤去に係る経費や自走式下刈り機等のリース経費を支援</li> </ul>	3,718,967

## 林道



長谷高遠線（伊那市）

木材搬出のため、林道を開設し整備

## 治山



月蔵裏【山腹工】（伊那市）

豪雨により崩壊した、山腹斜面の復旧

## 造林



主伐・再造林推進のため、植栽等を実施